

## 武漢熱線

大分市武漢事務所  
全 淑 麗

Wu-han Hot Line

## 武漢グリーンロードについて

大分市では、新しい森林の活用法として、市内の森林部全体が森林セラピー基地として、また8本の登山道やウォーキングコースが森林セラピーロードに認定されているとのことですが、武漢においても、同様の観点から、グリーンロードの建設が2012年から始まっています。

## グリーンロード建設構想図

グリーンロードとは、欧米が起源の、一定幅の緑化緩和帯で構成される自然生態ベルトのことです。そこには、歩道、自転車道、車いす等の無動力車が通ることのできる道路、駐車場、休憩所、観光ショップなどの観光休憩施設があります。

2012年2月13日、武漢市園林局が提案した「武漢市グリーンロードシステム建設計画」及び実施案は、武漢市のキャッチフレーズである「幸せな武漢づくり」の一環として、武漢市「第12次5カ年計画」の都市建設の重点施策として武漢市政府常務委員会で許可されました。

武漢グリーンロードの構造は、アメリカ東海岸グリーンロードと深圳市グリーンロードをモデルとし、郊外グリーンロード・都市グリーンロード・団地グリーンロードの3種類を建設し、風景区、名勝地、団地道路を連結します。完成すればグリーンロードの全長は2,200kmで、メイン都市部に450km、郊外部には1,750kmが計画されています。

グリーンロードシステムの構築は、「1核心6緑地10グリーンゾーン」と呼ばれています。即ち武漢市のメイン都市部のグリーンロードを一つの核とし、周辺に6大生態緑地を建設し、メイン都市部と周辺のニュータウン、観光地を連結する10本の郊外グリーンロードの建設を行います。建設目標としては、1年でモデルラインを建設し、5年間でメインの骨格を構築、10年間で完成をめざしています。2016年までには880km、2021年に2,200kmの建設計画です。

2012年度には、東湖-沙湖グリーンロード(68km)、漢口バンド-張公堤グリーンロード(33.6km)、月湖-知音湖グリーンロード(48km)の建設が既に着工し、45kmのグリーンロードモデルラインを建設すると同時に長江、漢水バンドグリーンロードと住宅団地グリーンロードの建設も一斉に始まっています。

グリーンロードは幅2m～3.5m、歩道と自転車道を設置し、なるべく既存道路を活用し、沿線の生態環境の保護に注意しています。市民が自転車に乗ったり、散歩をしたり、リラックスすることができるスローライフを提供することで、「幸せな武漢づくり」において重要な役割を果たします。都市の経済を発展させると同時に、グリーンロード建設は、都市建設における生態環境保護の一環として必ず整備しなければなりません。

グリーンロードはレジャー、健康づくり、観光などの機能を主とし、交通機能も兼ねています。グリーンロードの利便性を向上させるた

東湖-沙湖  
グリーンロード武漢森林公園付近の  
グリーンロード

め、計画では、グリーンロードと地下鉄、バスなどの公共交通機関を連携させ、停留所の連結を進めています。

## 張公堤モデルグリーンロード

張公堤グリーンゾーンは、武漢市メイン都市部グリーンロードの重要な構成部分で、主に漢口側に建設しています。武漢市園林局によると、2013年2月に、張公堤グリーンロードが全線完成しました。周辺の常青芸術彫刻公園もグリーンロードの域内に組み込まれ、2013年6月には市民向けに無料開放する予定です。幅6mのグリーンロードは、自転車4台が並走することができます。グリーンゾーンは張公堤グリーンロードおよび両側の緑化景観用地を含み、景観用地は堤防から南に30m、北に50mまで延びています。西は漢水のグリーンロードと接し、張公堤、計画中の新堤防、漢北河堤防に沿って入江口で長江バンドのグリーンロードと合流し、全長30キロ、計画敷地面積は317ヘクタールとなっています。

自転車に乗りながら30キロにわたり風景を眺めることができるだけでなく、グリーンロードに設置された、コンテナ休憩所でコーヒーを飲んだり、友達と話をしたり、休憩をすることもできます。張公堤グリーンロードは沿線の公園、又は支線の起点や終点から、3から5キロおきにコンテナ休憩所を設置し、売店、レンタサイクル、休憩所、トイレなどを完備します。計画中の一級レベルのコンテナ休憩所は3箇所、二級レベルのコンテナ休憩所は5箇所あります。



張公堤グリーンロード

## 3年後には、国際自転車ロードレース大会が開催可能

情報によりますと、国際レベルの自転車ロードレース大会用のレース会場の基準は長さ25km幅6mのアスファルト道路で、沿線部には町、農村、山水、湖などの景観を全て備えなければなりません。3年後には、このようにハイレベルな国際大会も張公堤グリーンロードで開催できる見込みです。

張公堤グリーンゾーンの計画によると、張卒湖公園の広場を国際自転車ロードレース大会のスタートラインにし、公園の環状道路をレース道路とします。選手はスタートから公園のメイン道路に沿って時計回りに張公堤グリーンロードに入り、江河文化公園の広場をゴール地点とします。また、新堤防グリーンロードと公園内のメイン道路をゴール前の500mとゴール後の100mの直線道路として活用できます。国際自転車ロードレース大会の開催期間中、張公堤グリーンロードには100m毎に移動サービスステーションを設け、合計30箇所を設置し、選手に飲料、食べ物などを提供することができます。